

ライフの学校新聞

Vol.14

がっこう

ぶん

しん

2026年

冬

ふゆごう号

幸町キャンパス多機能センター オープン



10月にオープンしたばかりの、^{きょうせいがた きのう}共生型多機能

センターと、2月にオープン予定の

^{ほう か ご}放課後デイサービスセンターを紹介します！

ぜひ遊びにきて、^{いっしょ}楽しみ方を一緒に
見つけましょう。



テラス

目の前が公園なので、近所のこどもたちの声が聞こえてきます。パートナー（利用者さん）と一緒に、これからどのように活用していくのか、どうぞ期待！

放課後デイサービス

^{しょうがい}障害のあるこどもが利用できるサービス。
^{ひとり}一人ひとりとかわり、ともに育ちあう
^{りよういく}療育の場。お年寄りとの交流で、学ぶこ
ともたくさんありそう！



共生型多機能センター

^{つうしょ}通所・^{ほうもん}訪問・^{しゆくはく}宿泊が一つの場所で利用できるサービス。広々としたスペースには、おしゃれな家具が、^{かんよう}観葉植物に囲まれながらゆったりと過ごすことができます。



文：遠藤圭、
岩槻幸展

スタッフレシピ！

ウェルカム！カフェの人参ドレッシング

^とみんなの畑で採れた人参を使ったレシピ。
^{しお}塩とはちみつを入れるのがポイント！
^{あま}人参本来の甘さが引き立ちます。



- ① 人参を圧力鍋にかけて
やわらかくなるまで加熱する。
- ② フードプロセッサーまたは
こし器を使い、ペースト状にする。
- ③ ②にオリーブオイル、はちみつ、
リンゴ酢（レモン汁または酢でもよい）、
塩、にんにく、ブラックペッパーを入れ、
混ぜたら完成。



文：杉山いのり、
二神運波



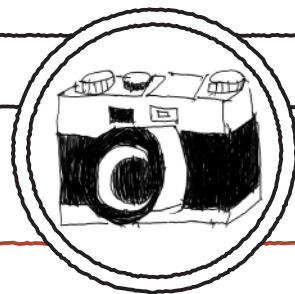
ゆきちゃんとい
いちちゃんは、寒
さには強いですが、雨や雪が少し苦手。雨や雪が降っていると



きは小屋のなかで身を寄せあい、晴れているときは小屋から出て日向ぼっこをしています。日向ぼっこをしているときはシャッターチャンス。寒い冬でも、近所の人がくれる野菜や草を食べて、元気に過ごしています。



文：宮東涼夏



黒川親子の一枚

ライフの学校での二人

前向きに日々を生きる

親子二人

火事を乗り越え、笑顔で支えあう

黒川親子の人生とは

親子と障害

母のさわいさんが娘のひろみさんの障害に気づいたのは3歳のころ。四つん這いで歩く姿を見たときだったそうです。5歳になると、ひろみさんは自ら「足が治ると思うから」と宮城県仙台市にある、体が不自由なこどもが入所することができる拓桃園という施設への入所を希望します。母との別れの日も泣かず、入所してからは周りの子を励ましたり、元気づけたりと、明るく振る舞っていたそう。母のさわいさんは週に一度、洗濯ボランティアとして通い続け、離れても寄り添い続けてきました。拓桃園やその後過ごした養護学校では友人にも恵まれ、親子は障害と向きあい前向きに歩んできました。

黒川家を襲った火事

普段は庭の畑を手入れし、ネギや大根などの野菜を育てる日々を送っていた二人。掃除や洗濯、食事の準備も協力しながら行い、家事は親子の大切な時間となっていました。2023年、ストーブから突然火が上がり、すぐに気づいた母のさわいさんは「ひろみ、逃げろー!」と叫び、娘のひろみさんは寝ていた部屋から四つん這いで玄関へ這い出したそ



左がひろみさん、右がさわいさん

うです。「とにかく逃げるしかなかった」「何が起きたかわからなかったけど、とにかく外に出た」と二人は振り返ります。その後、火は急速に広がり、家はほぼ全焼。家具や思入れの品も焼けてしまいましたが、二人は無事に避難できました。

その後の生活

火事のあとは、親戚や近所の人々の支えで新しい住まいを確保し、生活を立て直すことができたそうです。現在、二人は親子でいっしょにライフの学校の「デイサービス」に通いながら、穏やかな日々を送っています。「生きていればまたやり直せる」とさわいさんは話します。火事を乗り越えた親子の絆は、さらに強くなっています。

黒川さわいさん、ひろみさん

母のさわいさんは1934年、宮城県亘理町生まれ。7人きょうだいの6番目。娘のひろみさんは1971年、宮城県仙台市生まれ。現在はライフの学校の共生型デイサービスセンターを親子で利用し、仲良く過ごしている。



聞き手：坪井啓彰、平間貴信
文：細谷溪

このまち インタビュー Vol.14

さん べい さだ こ
三瓶貞子さん

幸町キャンパスパートナー

100年の人生で一番印象に残っている出来事は？

お花の先生をしていたことかな。結婚する前から華道をやっていたね、ずいぶん前のことだから覚えていないけれど、花を生けるのは楽しかったよ。植物が好きだったからね、はじめたんだ。家の近くで教室をひらいて、生徒と花を囲んで過ごす時間が、いまでも心に残っているよ。お花はね、自分で植えたり、育てたりしたよ。その花を生けてね。作品を生徒に譲ったこともあるよ。ほかにも、こどもの頃遊んだお手玉やおはじきをしたことも思い出。手先を使うのが好きだから。絵を描くのも好きだったよ。風景を描くね。

健康の秘訣を教えてください。

昔から身体が丈夫で、おてんばだったんだよ。特に運動はしていなかったけれど、歩くのは好きだね。あとは勉強。私は本を読むのが好きだよ。たくさんある本のなかでも勉強の本を読んだね。小説は読まないかな。毎日日記を書いているよ。昔のこと忘れないように(笑)昔はね、筆で書いたでしょ？漢字を書くのが好きだね。女学校のときからたくさん書いていたよ。



若い人へのメッセージはありますか？

自分に厳しく、人に迷惑をかけないこと。自分でできることは自分でやることだね。そうしないと自分の立場が悪くなるからね。前からそうしてきたよ。がんばり屋だからね。それで100歳まで生きられたのかもしれないね。

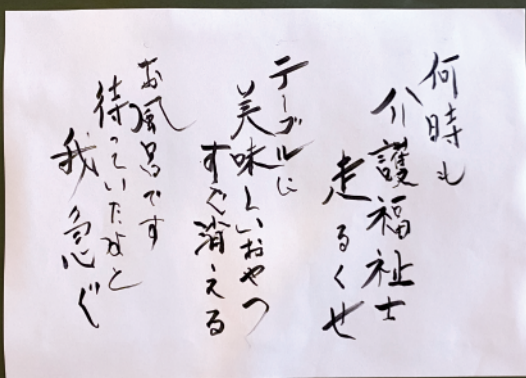


1924年11月福島県会津生まれの101歳。7人きょうだいの5番目。郡山市の安積女学校を出てからは事務員として働く。華道の内弟子や茶道をしていた。水彩画、油彩画を楽しむことが好き。



聞き手・文：
ヴェティウトウイ、
遠藤圭

小さな美術館



文：高橋香織

「川柳名人」



日本には、短歌、俳句、川柳といった音数や打数、リズムを形式的な規則に従ってつくる定型詩があります。萩の風キャンパスのショートステイを利用中のパートナー(利用者さん)は日々の生活で感じたことを詩にしています。そのときに感じた思い、スタッフへの感謝などをしたための詩。スタッフがパートナーに楽しんでもらいたいとアジサイを持ってきたときも、とても喜び、その気持ちを詩で聞かせてくれたこともありました。ユーモアにあふれ、情景が思い浮かぶような詩で、スタッフの心をふっと和ませるそんな作品です。

ライフの学校とは



福祉施設を地域にひらき、さまざまなひとが
集う「学びあいの拠点」にしている社会福祉
法人です。現在は、萩の風・上飯田・幸町・
霞目・新田・六郷の全部で6つのキャンパス
と畑があり、高齢者福祉、障害者福祉を中心
にさまざまなプロジェクトを行っています。



社会福祉法人
ライフの学校
https://gakkou.life

【利用案内】※どなたでも利用できます

萩の風キャンパス 仙台市若林区上飯田字天神1-1

嫁入りの庭

入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやってきた
家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。

◎24時間365日(年中無休)

ライフの図書館

福祉や地域に関する図書が並び、自習室としても利用できます。

◎時間＝9:00-18:00(金曜は15:30まで)

駄菓子屋「かみふうせん」

看板猫のふうたもお待ちしています。

◎時間＝10:00-16:00(日曜休み)

こども食堂「おかえり」

嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評！

◎日時＝第3土曜、12:00-14:00

そのほかのイベント

ウェブサイトでご確認ください。

霞目キャンパス 仙台市若林区霞目2-14-26

ウェルカム！カフェ

日替わりメニューはインスタストーリーをチェック！

◎日時＝火～土曜(祝日営業、日・月曜休み)、10:00-16:30

Instagram



新田キャンパス 仙台市宮城野区新田5-1-20

ゆとりの医科歯科クリニック

口腔と全身の健康管理ができます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

編集後記

ウェルカム！カフェの人参ドレッシングは、みんなの畑で大きくなりす
ぎてしまった規格外の人参を使用。形にばらつきがあり、なかには虫
が出てくるものも。パートナーと一緒に、いびつな人参の皮むきは気が
遠くなる作業でしたが、手間ひまかけてつくったドレッシングの味は格
別でした！最後まであきらめない大切さを学べたいい経験です。 杉山

ライフの学校新聞 Vol.14 2026年冬号
発行日：2026年1月12日
発行：社会福祉法人ライフの学校
宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
022-289-8555

発行人：田中伸弥[ライフの学校]
編集：堀内直美＋守安里沙＋高橋香織＋細谷漢＋杉山のり＋二神遥波＋宮東涼夏＋遠藤圭＋
岩槻幸展＋ウティウトウイ[ライフの学校]
デザイン：阿部航太
イラストレーション：阿部貴志＋木村昭二＋安川皓＋米川英利＋ビー＋杉山のり

おしらせ

特定技能外国人の受け入れが 始まりました

日本の外国人介護人材の受け入れの制度は【在留資格介
護】【EPA(経済連携協定)】【技能実習】【特定技能】の4
つがあります。特定技能は国内で人材を確保することが難
しい状況にある介護や農業、漁業など全部で16の分野で、
外国人の受け入れをすることによって人材の確保、生産性
の向上を目的とした制度です。2024年10月、世界で一番
人口が多く採用の余地が大きいと考えられるインドへ。2
日間で約40名と面接を行いました。「人生で一番悲しかっ
たことは？」「自分は運があると思うか？」などいくつかの
質問を行い、2日間で3人を採用しました。日本に来るま
でのあいだはインドで日本語の勉強をし、2025年9月に
入国。いまは、萩の風キャンパスで働いています。食器洗
いやシーツ交換からはじめ、パートナー(利用者さん)と
行事に参加したり、留学生の先輩と話したりしながら少し
ずつ仕事にも慣れてきています。来年度はインドネシアか
ら新しい仲間が加わる予定。これからも一緒に学びあっ
ていきたいと思います！



インタビューのなかで特に印象に残っているのは、三瓶さんが「お
てんばだよ」と笑いながら話していたことです。とても元気いっぱ
いな三瓶さんらしい言葉だと感じました。普段グループホームで一
緒に過ごすなかでも、好きなことや得意なことを続けてきたことが、
いまの元気な三瓶さんにつながっているのだと感じました。 トウイ